

ばばだけ！ 広島サンダーズ

久原 大輝

レギュラーシーズンを4試合残り、上位6チームによるプレーオフ（PO）進出を決めた。昨季は最終戦の結果に委ねる形での進出だっただけに、今季は自らの力でその切符をつかみ取ったことに大きな意味がある。

ここまでの道のりは決して平た



ゲームキャプテンとしてチームを引っ張る新井雄大選手⑦（5日）



自力でPO 4強達成へ

んではなかった。勝利目前での取りこぼしや、自分たちの持ち味を発揮できない試合も経験してきた。それでも、その一つ一つを糧にしながら、チームは着実に力を積み上げてきた。好不調の波の大きさは残るものの、要所で見せる集中力や一気に流れを引き寄せる時間帯は確実に増えてきている。

POでの対戦相手はまだ決まっていないが、受け身に回る必要はない。安定感には課題を残す一方で、流れに乗ったときの爆発力はリーグ屈指であり、短期決戦では大きな武器となる。

POは3戦2勝のノックアウト方式だからこそ、初戦の入りと勢いが勝敗を左右する。まずは初戦に照準を合わせ、細部までこだわった準備を進めていきたい。そして、あくまでも今季の目標はPOで勝利を挙げ、上位4チームに残ること。その目標を達成するためにも、ここからさらに一段階ギアを上げていく必要がある。ここからが本当の勝負である。

（広島Tマネジャー）